

産業・企業演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-402
選択必修 2単位

宿輪 純一

1. 授業の概要(ねらい)

<「演習」よりも「さらに」「就職活動」と「社会」に出て役立つ、経済・金融・経営の知識「就職」力と“社会人”力を身に付ける>

① 学生は、「日本経済新聞」の主要な記事の内容・意見をプレゼンテーション・ディスカッションする。小職が分かり易く追加解説することによって、「経済・金融・経営分野の実践的な知識」を身に付ける。その後、小職がさらに理論的な解説を加える。

② 学生は、「教科書」を順番に輪読する。小職が追加解説することによって、「理論的な知識」を身に付ける。

③ 学生は、自己分析に基づいた希望の専門分野で「テーマ」を決め、研究し「レポート」(小論文)を作成する。学生は各段階でプレゼンするが、それに対し小職が指導し完成させる。このレポートは就職活動で活用できる。

④ 学生は、フィールドワーク(校外活動)として、小職が16年行って、日本経済新聞にも紹介された「社会貢献公開講義」へ参加(ウェブ・リアル)する。「実務のとしての知識」を深め、一流企業の社会人と接することによって、就職力を強化する。

⑤ 学生は、早期より、小職の指導の下、各自「ES(エントリーシート)」を作成し、「面接練習」をする。

経営企画や海外勤務も含めた27年のメガバンク勤務や当局の委員会等で得た「経済・金融・経営全般についての現場の知識」も出来る限り、分かりやすく供与したい。

就職活動にSNSも使われる時代であり、SNSに慣れる為にも、連絡や情報共有は「Facebook」を通じて行なうので、対応して頂く。

この実践的な知識習得と能力向上のプロセスは、長年、面接官をしていた小職からみても、「就職活動」に役立つことは確信している。

< 博士(経済学)・エコノミスト・元三菱UFJ銀行(27年勤務)>

2. 授業の到達目標

就職活動および社会で役に立つ、経済・金融・経営の知識を身に付けること。

「日本経済新聞」を理解できること。

「教科書」の内容を身につけること。

3. 成績評価の方法および基準

出席の状況、小論文・小レポートの内容、発表の内容、真面目な受講態度

4. 教科書・参考文献

教科書

宿輪純一 『通貨経済学入門(第2版)』 日本経済新聞出版社

宿輪純一 『決済インフラ入門[2020年版]』 東洋経済新報社

参考文献

宿輪純一・藤巻健史 『円安vs.円高』 東洋経済新報社

5. 準備学修の内容

日本経済新聞の毎日の読み込み、教科書および参考文献の読み込み

6. その他履修上の注意事項

講義への出席と真面目な受講態度

7. 授業内容

- | | |
|-------|---|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③自己分析(全員) |
| 【第3回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③自己分析(全員) |
| 【第4回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③自己研究(全員) |
| 【第5回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③自己研究(全員) |
| 【第6回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人) |
| 【第7回】 | ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人) |

- 【第8回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第9回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第10回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第11回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第12回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第13回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第14回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)
- 【第15回】 ①当日の日本経済新聞の記事の発表・討論・解説(2記事)
②教科書の輪読(5ページ)
③論文の発表と指導(5人)